



## ワンハート・ストーンはこうやって作られています

ワンハート・ストーンは熟練の職人がひとつ、ひとつ手作業で仕上げていきます。骨格の特長や毛の質感を「磨く」「削る」という彫刻だけで表現し、石に「命」を吹き込んでいきます。石匠(いしく)と言われた職人の技と情熱が込められています。

【制作・著作】(株)ワンハート・コミュニケーション  
京都府八幡市川口東 14-13 <http://nettemple.jp>



原石(御影石など)の側面に下絵を書きます。



下絵に沿って石を削り原型を作ります。この作業を「石割」や「大割」といいます。



彫りの深さ、磨き方により光沢感を調整しリアル感を演出します。



色合いや毛の質感を、彫刻だけで表現し塗料などは使いません。まさに匠の技です。



このたびは、色々とお世話になりました。週末、自宅に戻ってから早速開封し、対面いたしました。やはり、実物を目にするとう実感が湧いてくるものですね。数日かけて安置場所を整えました。納骨は正直苦労しました。。。マーチの遺骨が多かったようで、細かく砕きながら時間をかけて押し込んで蓋を閉めた次第でしたが無事納めることができました。毎日、マーチの頭を撫でてお水をあげて、お花に水をかけることが新しい日課として加わりました。ご近所の方々からもマーチを懐かしむ声をかけられるようになり、とても嬉しく過ごしております。マーチの製作にかかわってくださったスタッフの皆様にご心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



こんにちは。6月の依頼より10月末まで長きに渡り無理難題を押し付けたのにも関わらず快く受けてくださり有難う御座いました。「でんすけ」は、お気に入りのリビングの日の当たる大好きな場所で私を眺めてくれてます。まるで今にも歩いてきて体を擦り付けて、「ねえ？僕いい子やろ？母さん元気になった？」って来てくれそうです。はい！元気になりましたよ！でも涙がでできます。「でんすけ」が居られるから！ 主人は、後ろ姿気持ち悪いくらい似ると娘は、久々に帰ってきた、「でんすけ」を見て涙がでたそうです頭をなでて、「おかえりなさい！」と今は「ただいま！でんすけ！」と頭をなでてます。のりたま(猫)は、「でんすけ」の頭をペロッ！  
何度も何度も修正に応じていただき、でんすけを連れて帰ってきてくれて本当に有難う御座いました。粘土型の方は枕元に連れていき毎晩傍にいます。

## USERS'S VOICE

ワンハート・ストーンは  
今まで、たくさんの方々の  
心を癒してきました。



ラブの石像 とても素晴らしく、本当のラブのように見えました。石膏の時にこれ以上は無理なんだろうと少し諦めていましたが、手元にきてまるでラブが帰ってきたような気さえしました。これだけラブらしくなったのであれば、チップもフルオーダーで作ればよかったかもと、ちょっと後悔していますが、それでも体内に遺骨を入れてあげたらこちらもチップに見えてきましたので、これからこの子たちをラブとチップだと思って、そばに置きたいと思います。いろいろありがとうございました。

販売代理店

有限会社 森石材店

京都市右京区花園寺ノ前町58

TEL 075-463-5710

FAX 075-463-5743